



# 日本共産党前都議会議員 そねはじめレポート

2012年 10月27日発行 第 60 号

そねはじめ事務所  
114-0032  
北区中十条2-11-6  
Tel:3907-1135  
Fax:3906-3225

## そねはじめの訴え 衆院議席倍増・12区勝利めざす決意

**石原悪政から都民を守るたたかいかいでも  
介護・医療保険、まち破壊の道路計画、都営住宅など**

きたるべき総選挙での躍進をめざすたたかいかいの中で、池内さおり衆院予定候補とそねはじめ前都議は、毎週朝夕の駅前宣伝と、区内各区議地域での区政報告会やつどいに出席し、共産党躍進を訴えています。

### ★たたかいかいの最前線で★

池内予定候補は、毎週金曜夜の原発ゼロをめざす官邸前集会から、さらに野田政権の遠い未来の「脱原発」政策さえ圧力で押しつぶした財界・経団連本部への抗議行動にも参加しています。

また、コーヒーショップや自動車メーカーで若者の使い捨てとたたかう首都圏青年ユニオンの企業交渉にも組合員として参加。最前線でもにたたかう姿をいきいきと語っています。

### ★共産党にしかない力で★

そねはじめ氏は、日本の命運を左右する総選挙で議席倍増をかけた中央委員会総会を紹介。

消費税でも原発でも安保問題、TPPでも他党にない明確な対案とビジョンを掲げてたたかえること、政治の右翼反動化と対峙し、全国2万の支部の草の根の運動、90年の歴史で試された不屈の党として必ず躍進をと決意を表明しました。

### ★右翼化の頂点石原と対決舞台へ★

また橋下・維新の会が不祥事を繰り返す実態や、橋下氏が師と仰ぐ石原知事の都政運営が、ムダ遣いの大型道路計画や都民無視の五輪招致などゆきづまっていることを強調、都民の都政へ変革する対決の舞台をめざすと訴えました。



区内の街頭で訴えるそねはじめ前都議

## 「年金から2割も引かれたらたまらない！」

### 都議団とそねはじめ前都議が介護・国保料の引き下げを要請

★昨年春から23区の国民健康保険料が、他の道府県と同じ「所得対応」に変更され高齢者や扶養家族や障害者などの控除がなくなりました。

★世帯によって国保料が2～3倍に跳ね上がるため、共産党は今年までの激変緩和を来年以降も延長し、都の財政支援で、一人年間5千円ずつ引き下げも行うよう要望しています。

★そねはじめ前都議は25日に都庁で都議団と共に、介護保険料と国保料、後期高齢保険料の引き下げを求めて都と交渉しました。

★「いま年金から地方税と介護保険や医療保険料合わせて2割近くも引かれ、最小限の生活さえ賄えない」との声をもとに、そね前都議は約150億円で介護・医療保険料を一人1万円下げられると訴えています。

介護保険について都に要望を提出して交渉するそねはじめ前都議



# 民営化後も北社保病院を、住民の皆さんとともに しっかり守っていきます

## 増築・機能拡充工事の早期実現を

民主党野田政権は、東京北社保病院について、“公的存続”の公約から外して、運営している地域医療振興協会への譲渡を決めました。

本来なら国や自治体が責任を持つべき、その地域の医療の中核となるべき病院について民間にゆだねることは、今後に大きな心配を残します。

### ◆拡充は住民運動の成果

しかし、国立王子病院廃止反対運動以来の住民運動が

あったからこそ、社会保険病院が実現し、343床への拡充も約束されました。

### ◆増築・譲渡を区別して

いま譲渡の金額が膨らむのを恐れて予定された増築工事が止まっていますが、医療法人が自費で増築する分まで譲渡金額に含めるのをやめれば工事着工は可能はずです。

待ったなしの防災や周産期医療機能を約束通り充実させるよう、今後も強く求めていきましょう。

1986年2月、国立王子病院廃止計画に反対して、同病院内で行われた住民と職員の反対集会で、すぐ隣の赤羽台4丁目団地の一住民として訴えるそねはじめ氏



## 11・11原発 ゼロ集会を 百万人で

7月16日に代々木公園を会場に原発ゼロをめざす国民集会が行われ17万人が参加しました。

その会場で、政府の姿勢によっては秋に再び集会を呼びかけると訴えがあり、その後の野田政権の迷走を受けて、11月1日に霞が関を百万人規模で埋め尽くそうとの呼びかけが出されています。

## 北区でも午後から地域集会を開き

北区でもこれに呼応して午後2時ごろから王子付近で集会を開き、そのまま霞が関・国会周辺に集結しようと計画されています。

あなたもぜひ、原発ノーを声に出してみませんか？

そねはじめ切り絵の世界 「NO. 8」

## 演技に集中し個性光る子どもたちの美しさ



10年以上前、初めて卒業生を担任したかみさんから、子どもたちに記念で贈るカードにするため、運動会で初めて挑戦した女子の4段ピラミッドの写真を切り絵にしたいと頼まれました。

私が原画を描き、かみさん自身が切り絵に仕上げたのがこの作品です。

子ども一人一人が、同じ服装で統一し組体操の演技に集中し

ながらも、それぞれの個性がきらりと光る姿がよく出ていて、切り絵でも、どれがどの子なのか全員がすぐわかったということでした。今ではなかなかこういう作品を製作するチャンスがなくなり、ちょっぴり残念です。